

令和6年度第2回三重県医療審議会健やか親子推進部会が出された主な意見

○ 「健やか親子いきいきプランみえ（第3次）」の策定について

- ・他の計画との関係や全体の流れが分かる資料があるとよいのでは。
- ・虐待死亡事例をふまえた課題について、今後の対応に関する記載が弱いのでは。
- ・「取組の推進体制」の中で、教育委員会との連携に関する文言を入れられないか。
- ・医療体制のことは医療計画に任せるとするのではなく、共に取り組んでいくことを示すべきでは。また、今後の厳しい状況を踏まえ、現実に即した内容の計画とすべきではないか。
- ・乳幼児健診の均てん化や更なる健診の実施に向けた取組みについて、具体的にどのようなアウトプットを通じて5歳児健診や1か月児健診を進めていくのかの記述があると良い。
- ・「妊婦の口腔」とあるが、出産後は環境が大きく変わり、産婦の口の中も変わってくるため、「妊産婦の口腔」としてはどうか。
- ・1か月児健診と5歳児健診が参考指標となっているが、アウトプット指標に入れるべきではないか。
- ・性教育に関して、市町による格差が大きいため、県からも積極的に働きかけを行ってほしい。
- ・自殺予防やこころの問題に対応するアウトプット指標を設定すべきではないか。
- ・自殺対策において、子どもアドボケイトのことを考える必要があるのではないか。
- ・食事を取り上げることも良いが、ライフサイクル（睡眠）のことも考慮いただきたい。
- ・パパ育児の動画を積極的に活用してほしい。短くて分かりやすく、医学的知見を踏まえているため、いろいろなところで活用いただきたい。
- ・子どもの居場所は食事や学習支援だけでなく、精神的な居場所や人とのつながりが重要である。
- ・愛着の問題は大きな課題であり、愛着の問題から発達遅れが生じ、特別支援学級に通う子どもが増えている。また、親が発達障がい認めにくいという課題もあり、親や周りの大人が発達障がいを理解することが、子どもの成長と自立に非常に重要である。
- ・妊娠を隠す人をどう見つけて支援につなげるかが重要である。予期しない妊娠の相談窓口「妊娠SOS」が唯一の手段となることもあるが、市町が未受診者を把握するための有効な取組を検討してほしい。
- ・中学校に妊娠SOSのポスターやカードを置いていただきたい。

○ 今後の対応方針

いただいた意見を踏まえ、次期計画「健やか親子いきいきプランみえ（第3次）」の策定を進めてまいります。